欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 サンヨーフーズ 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県廿日市市友田字橋桁10096番地2

(3)業種

すし、弁当、調理パン製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO₂),削減率(%)

平位. 奶田重(t CO2),的硕士(/0)							
温室効果ガス の種類	基準年度実 排出量(a)	目標年度 上段:見込量(b) 下段:削減率(c)	量(b) 計画期間の実績 (LB:実排出長(d) 下路:削減長の対其進年度		比 (e))		
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源C02		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー		9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
起源C02		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0					
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス							
実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c)=((b)-(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標: 百万食

温室効果ガス の種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段:目標 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d),下段:削減量の対基準年度比(e))			度比(e))	
	平成19年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
エネルギー	149	141	178	157			
起源C02	110	-5. 2	-20.0	-5.6	100.0	100.0	100.0
非エネルギー							
起源C02		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン							
777		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	歌ルー売ま						
一致化一至杀		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他							
温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス							
排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エスルギー消費原 単位(原油換算							
平位 (原面換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c)=((b)-(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

_	○ 価室効果ガスの排口抑制に同じた取組み						
1	項 目	削減量等	具体的な取組み				
1	燃料使用量の削減	CO ₂ の排出量を10%削減	・灯油燃料ボイラーをLPG燃料ボイラーに 変更				
2	電気使用量の削減	2%削減	・冷暖房温度の適正管理				
3	電気使用量の削減	2%削減	・空調機を省エネタイプに変更				
4	電気使用量の削減	2%削減	・照明器具のLEDへの転換				

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	温室効果ガスみなし排出重の抑制に関する取組み	(塚現価値の活用等)
	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

$\overline{}$			
	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

[※] 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。